



質問

「黒木町笠原の伝統文化「人形浄瑠璃」の継承について」



黒木小学校では、笠原地区を中心にクラブ活動で人形浄瑠璃をやっています。今年は笠原以外でも浄瑠璃クラブに入る人がいたので人数も揃い、本公演も成功しました。でも、今後は人数が減り、続けられるのか心配です。これからもこの伝統文化を受け継いでいくために、学校だけでなく、八女市としてはどのように考えてあるのかを教えてください。



市長からの回答

黒木小学校のみなさんがクラブ活動で取り組んでいる人形浄瑠璃は、旭座人形芝居といって、黒木町に昔から伝わる伝統文化です。この伝統文化が今も受け継がれているのは、保存会をはじめ地域の方々とクラブ活動に励むみなさんのおかげです。本当に感謝しています。

椿原議員がご心配されているように、この伝統を受け継いでいく人がだんだんと少なくなっていく心配があります。地域人口の減少や、さまざまな理由で活動に参加できる人も減っているからです。このことは、旭座人形芝居だけでなく、ほかの伝統文化でも同じで、大きな課題になっています。

このような状況の中で、これから先、笠原地区の人たちだけで旭座人形芝居を守り続けていくのは、負担が大きくなっていくかもしれません。

そのため市としても、これまで旭座人形芝居を受け継ぎ守ってこられた保存会のみなさんや地域の方々と、これから先どう続けていくかを考えながら、より多くの人に知ってもらい取り組みを進めていきたいと思っています。

たとえば、地域や年齢に関係なく、「やってみたい！」と思ってくれる人を増やすために、「いろいろな人たちが旭座人形芝居にふれる機会をつくること」「発表したり紹介したりする場を増やすこと」といったことに取り組んでいきたいと考えています。そして、旭座人形芝居のこれからについては、保存会や地域の方々の思いを大切にしながら力をあわせて取り組んでいきます。

今後も、椿原議員も一緒に、旭座人形芝居を将来に残すための方法について、考えてもらえると、大変心強いなと思います。



質問 「星野村での子どもバス運行について」



星野村には、堀川バスが通らない地域もあり、子どもの運賃が高く感じられます。そのため、遠い地区の友達の家にはバスで遊びに行くことができません。そこで、「子どもバス」の運行を提案します。運賃は、子ども50円、大人100円程度で、このようなバスがあれば、友達とも遊びやすくなるし、高齢者も気軽に使うことができると思います。



市長からの回答

バスが通らない地域でも、気軽に遠くまで遊びに行けるようなワクワクする乗り物のご提案をいただき、ありがとうございます。

堀川バスには、小学生・中学生・高校生向けの割引制度があり、土日祝や春休み、夏休み、冬休みの期間に利用できます。この割引制度を使えば、小学生は100円、中学生は200円で乗車することができます。また、大人の方には土日祝に利用可能な1日乗車券も販売されています。お休みの日に遠くへおでかけされる際には、ぜひとも路線バスを利用いただいて、安全・安心なお出かけを楽しんでほしいと思います。

八女市では路線バスのほかにも、自宅から行きたい場所まで送迎する「ふる里タクシー」が市内全地域を運行しています。平日限定のため主に買物や通院などで高齢者を中心にたくさんご利用いただいておりますが、小学生が友達の家遊びに行くお休みの日は利用することができません。マイカーがなくても、バス停から離れていても、お休みの日でも、子供も大人も様々な世代の方にとって、安心してお出かけできるような仕組みを考えていく必要があると思っています。

そのため、八女市では、今年からこのふる里タクシーをもっと皆さんが使いやすくするための準備を今しているところですので、楽しみにしててください。いろんな問題を一つ一つ解決して、これからもずっと八女市で安心して豊かに暮らしていただけるようなまちづくりに取り組んでいくので、日野議員に今後いろいろなアイデアを提案いただけたら嬉しいです。



質問 「八女市のPRについて」



八女市には、特産物や魅力的な場所がたくさんあります。福岡のサッカーチーム「アビスパ福岡」のフレンドリータウン事業などを活用すると、県内や県外の方に八女市のことを知ってもらって、たくさんの観光客の方が来てくれるのではないかと思います。八女市のよさや素晴らしさをPRするために、何か取り組まれていることはありますか。



市長からの回答

八女市では、こども議会で提案していただいたアビスパ福岡との連携を含め、八女市の「よさ」と「素晴らしさ」を県内・県外の方に広くPRし、多くの観光客に来ていただくための様々な取り組みを進めています。スポーツを通じたPRと連携では、ご質問いただいたアビスパ福岡のフレンドリータウン事業の取り組みを進めていて、具体的に何をやっているか説明します。

八女東部スポーツ公園で、アビスパ福岡が、九州各地から5年生以下の子どもたちのチームを招いて、2日間のサッカー大会を開催しています。天然芝の素晴らしい環境でプレーしてもらうことで、八女市の施設をPRするとともに、参加者やそのご家族が八女市に滞在し、魅力を感じてもらえる機会を作っています。今後も、市外・県外の方に八女市を知ってもらうきっかけとして、アビスパ福岡との連携を強化していく予定です。

他にも、八女市は、広川町、筑後市、柳川市、大川市、みやま市、大木町とで構成される「筑後七国活性化協議会」という集まりの一員として、福岡ソフトバンクホークスと連携した地域活性化に取り組んでいます。この取り組みは、筑後七国エリア全体で、ホークスファンや野球に関わる人たちとつながりをつくり、たくさんの人を呼んで地域を活性化することにつながっています。

今後も、スポーツだけではない、様々な観点から八女市の良さを広く発信し、多くの観光客の方に来ていただけるよう取り組んでいくので、野中議員も八女市の魅力をよく知っている一人として、その取組に協力してくれたらうれしいなと思います。



質問

「八女市のスーパーやコンビニ設置について」



星野村にセブン-イレブンができたことで、近くで買い物をすることができ、星野村の人たちは、喜んでいると思います。ほかにも山の方に住んでいて買い物に困っている人たちへの取り組みをされていますか。また、今後、計画されていることがありますか。



市長からの回答

星野村にセブン-イレブンができて、星野村のたくさんの方が「買物が便利になった」と、とても喜んでいます。星野村は人口が少なく、お店も少ないため買物に困っている人たちがいました。

そこで、「困っている地域を助けよう」と、セブン-イレブンと住民、八女市が協力して地域を元気にするために作ったお店です。セブン-イレブンとしても、全国で初めての特別な方法でこのお店を作りました。

八女市には、星野村以外にも買物に困っている人たちが住んでいる地域があります。社会福祉協議会という団体の人たちや、地域の住民の皆さんが協力して日用品を売るなど助け合いをしています。

買物に困っている人を助ける方法はいくつかあります。新しくお店を作ること。商品を車に積んで地域を回る「移動販売」。インターネット上での買物などいろいろな方法があります。

どういうものが必要なのか、どのような人たちが買い物で困っているのか、地域によって課題は異なります。なので、それぞれの地域を訪問して、地域の方々の話を聞いて、それぞれの地域にあった、買い物支援の取組を進めることが大切です。

八女市では、これからも地域の人たちや協力してくれる方々が「どうしたら皆がもっと便利になるか」についてよく話し合いながら、住みやすいまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。大久保議員も、ぜひ八女市のいろんな方の話を聞いてもらって、「この地域には、こういうお店が必要ではないか」など、さまざまな提案をしてもらえると大変ありがたいなと思っています。



質問

「通学路の街灯について」



私たちの学校では、部活動をしている人がいます。冬になると、暗くなる時刻が早いです。下校のときには、道路の標識が見えないくらい暗い道があります。つまずきそうになったり、怖かったりもします。通学路の暗い場所には、街灯を設置してほしいです。



市長からの回答

通学路の街灯設置について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

溝田議員が話してくれた通り、秋から冬にかけては、太陽が沈むのも早くなり下校時にはすっかり暗くなります。街灯が設置されて、暗いところが減ることで、住民の皆さんも安心できますし、ひったくりなどの犯罪も減るので、安心して利用できる道路を整備することはとても大事なことだと思います。

八女市では、みなさんが安心して安全に生活できるまちづくりを目指して、通学路や普段使う道路の街灯についてサポートしています。八女市で、暗いところにどんどん街灯をつけられたら良いのですが、八女市は広くて道路もたくさんあるので、全ての道路に一度に街灯をつけるのは難しいので、特に危ないところや、優先すべきところから街灯の設置を進めていく必要があります。

では、どこを優先的にやるのかというのは、地域の皆さんの意見を聞かないといけないので、街灯の設置個所は地域の皆さんに話しあって決めてもらって、それにかかる費用の一部を市が補助金という形でお金を出して援助する、という方式を取っています。

溝田議員や友達が普段使う道路で、暗くて、危ないと思う通学路や道路などがありましたら、保護者や地域の方、担任の先生に教えてもらうことで、地域のみなさんの中で「八女市の支援を利用して、ここに街灯を設置しよう。」と話し合いが行われ、街灯の設置に繋がることもありますので、まず、身近な大人に相談してみてくださいなと思います。



質問 「運動場のスロープについて」



運動場から校庭に上がるためには石段を登らないといけません。スロープがなく、車椅子の人や怪我をした人は大変です。

また、石段近くの草むらにはヘビが出ることがあります。階段の作りを変えてほしいです。



市長からの回答

運動場から校庭に上がるスロープについて、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

運動場が校庭より低いため、数か所に階段を設置していますが、富山議員が言われるように、ケガなどをして車いすや松葉杖を使うことになると、これまで問題なく通れた場所が、スムーズに通れなくなってしまいます。

富山議員からいただいた「階段の作りを変えてほしい」という意見は、みんなが不自由なく楽しい学校生活を送るためにとても大事な意見だと思います。スロープの設置については、今後も学校と話し合いながら、安全で安心できる環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。

また、石段付近の草むらから蛇が出ることについては、蛇も動物なので一定の場所に限らずいろいろな場所を通ります。そのため、「忌避剤（きひざい）」という動物が嫌がるニオイや成分を出す薬をまいたり、草むしりをして周りをきれいにするすることで、突然現れるのを防ぎ、皆さんがびっくりすることがないように努めています。

これからも、皆さんが安心して勉強できる環境を作っていくので、学校で生活する中で気づいた点、改善したほうが良い点などあれば、これからも学校の先生や保護者の皆さんを通じて、どんどん提案してほしいなと思います。



質問 「イノシシなどの害獣対策について」



私たちの校区では、イノシシなどの害獣が頻繁に出ます。そのため、登下校に影響が出たり、暗くなると気軽に外で遊ぶことができません。また、ミカン畑やキウイ畑などを荒らされることもあり、育てた作物が台無しになることがあります。電気柵などの対策をしていますが、それでも足りないことがあります。他に何か対策はしているのでしょうか。



市長からの回答

最近、イノシシなどの害獣が学校の近くに頻繁に出てきています。このため、みんなが安心して暮らせるように対策することが大切で、八女市としても様々なことを考えています。

まず、イノシシを見かけた人から連絡があれば、市役所職員がすぐに現場に行き調べてみます。そして、学校や地域の人たち、警察、イノシシを捕まえるプロである猟友会のみなさんと協力して、地域の人たちにイノシシの情報を伝えたり、チラシを配ったりして注意を呼びかけています。時には、警察や猟友会と一緒に山へ追い返して地域に被害が出ないように対策をしています。

次に、農作物を守る対策です。森議員の「電気柵だけでは足りない」という鋭いご指摘の通り、イノシシは力が強く、電気柵では対策できないこともあるため、もっと丈夫なワイヤーメッシュという金属の柵を使うこともあります。柵は、広い範囲でつなげることが一番効果的なので、近所の農家さん同士で協力して設置してもらっています。しかし、丈夫な柵を作るには多くのお金がかかるので、八女市では補助金を出して農家さんたちをサポートしています。

また、イノシシが増えすぎないように、捕まえる活動も続けています。しかし、イノシシを捕まえる猟友会の人たちの人数が減っているので、若い人たちに捕まえ方を伝えて育てていくことも頑張っています。

他にも、イノシシを呼び寄せないように、地面に落ちた果物やゴミを片付けることも大切です。このように、農作物が守られるための活動をしていくので、森議員もいいアイデアがあれば、どんどん提案してくれると嬉しいです。



質問

「学校周辺の整備について」



私たちの学校には 530 名ほどの児童がいますが、学校周辺で自由に遊べる場所や遊具が少なく不便に感じています。少し離れたところに筑後広域公園がありますが、子どもだけで気軽に行ける場所ではありません。子どもや地域の方が気軽に立ち寄り交流できる場所を増やしたり公園の遊具を充実させたりする取り組みを行う予定はありますか。



市長からの回答

学校のまわりに、みんなが自由に遊べる場所や楽しい遊具が少ない、という意見は、たくさん子どもたちが「もっと楽しく遊べる場所がほしい!」と思っていることだと感じています。私も、八女市のいろんな方々とお話している中で、公園を設置してほしいという声は一番多いのではないかなと感じています。

八女市には、大小いろいろな公園があって、みんなの遊び場や交流する場所になっています。でも、全ての地域に十分な遊び場があるかということ、今はまだそうではありません。

今は、八女市の中で新しい公園を作るのか、また、今ある公園を良くするのか考えています。平山議員からいただいた意見は、これからのまちづくりを考える上で、すごく大事なものだと思います。

新しい遊び場を作るためには、場所のことやお金(予算)のことなど、しっかりと考えなければならないことがたくさんあります。そのため、少し時間がかかるかもしれませんが、どうやったらみんなの願いに応えられるか、よく話し合っ

て考えていきます。

これからも、みなさんから届く声を大切にして、八女市の公園を充実させていきたいと考えているので、平山議員には今後も思いついたアイデアをどんどん提案してもらえるとありがたいなと思います。



質問 「商業施設の設置について」



私たちが住んでいる八幡校区には、スーパーやコンビニエンスストアなどの商業施設がありません。ノートを買いに行くのもすぐには行けず、車がないと買い物が難しいため、小学生にはとても不便です。子どもや高齢者にとって住みよい地域となるよう、校区内にお店を作ることは可能でしょうか。



市長からの回答

八幡小学校校区のみなさんにとって、近くにお店がないのは本当に不便なことだと思います。「ノート1冊を買いに行くのも大変」という困りごとはしっかりと受け止めています。

また、お店ができれば、毎日の買物が便利になるだけでなく、働く場所が増えたり、人と人との交流の場にもなり街がにぎやかになるなど、素晴らしい提案だと思います。

スーパーやコンビニができるためには、お店を経営する人が「ここに作れば、たくさんのお客さんが来てくれて、赤字にならずに続けていけそう」と判断する必要があります。お店を新しく建てたり、商品を揃えたりするには、たくさんのお金がかかるため、経営する側も場所選びにはとても慎重になります。

そこで八女市では、お店を出したい人を応援するために、お店を開くための費用を一部補助する取り組みを行っています。

また、「プレミアム付商品券」と言って、例えば1万円の商品券を買うと八女市内で1万2千円分のお買い物ができる商品券を発行して、市民のみなさんがお得に買い物ができ、お店も利益を出せるような仕組みを作っています。

たしかに、校区内に商業施設があれば、お年寄りも子どもたちも暮らしやすくなります。お店を新しく作るには、経営する人だけでなく、銀行や地域のみなさんと協力して、どうすればお店を続けていけるのか考えることが大切です。

これからも八女市では、みなさんが不便を感じることなく、ずっと八女に住み続けたいと思えるように、お買い物環境を整える方法を一生懸命考えていくので、服部議員にはこれからも素晴らしい提案を続けてほしいなと思います。



質問

「農地減少への対策について」



上妻校区には、田んぼや畑が次々に宅地になったり、大型のスーパーが建ったりしています。そのため、八女市内の農地は減少し続けているのではないかと考えます。また、農地が減ることで、農業に従事する人も減っているのではないのでしょうか。八女市としての対策があれば、教えてください。



市長からの回答

中園議員が言われるように、農地だったところに家やお店が建つことがあります。また、人口が減る、高齢化が進むことで、農業をする人の数も減ってきており、利用されなくなった農地に木や草が生い茂った状態になる荒廃農地（こうはいのうち）も増加しているため、農業をすることが出来る農地は、毎年減少し続けています。

農業をするためには、作物作りに適した農地が必要であり、農地をいかに守っていくかは八女市でも課題となっています。

ただ一方で、人口減少が進む中、出来るだけ多くの人に八女市に住んでもらう事も、市として大切なことです。そのためには、住むための家や住む人が利用するお店などの施設が必要で、農地だったところにそれらの建物を建てようとする場合もあります。

そのため八女市では、農地に勝手に家が建ったりしないように、八女市で作ったルールや国の法律を守らないと、家などが建てられないような決まりを作って、農地を守っていくようにしています。

また、農地を守っていくためには、農業をする人を増やしていく事も必要で、それには農業が儲かる仕事であることも大切だと考えています。

そのため、八女市では、良い農作物を作ってもらえるように、また作った農作物が高く売れるように、色々な取組を行っています。

今後も、八女市の農業や農地を守っていきたいと考えているので、中園議員にはこのような気づきや提案を今後も続けてもらえたらありがたいなと思います。



質問

「少子化対策について」



長峰小学校では、下の学年になればなるほど人数が減っています。私たちはたくさんの友達を作りたいと思っています。これ以上小学生の人数を減らさないようにするために、八女市ではどんなことをしていますか。



市長からの回答

八女市では子供の数が減っていく少子化が進んでいて、平井議員が通う学校のようにクラスの人数が少なくなったり、学級数が少なくなったりしています。

また、八女市全体の人口も減り続けていて大きな問題だと考えています。

人口が減っていくと、地域のお祭りが出来なくなったり、地域の商店がなくなったりして、地域に活気がなくなります。これはとても寂しいことです。

そこで八女市では、一人でも多くの人に八女市に住みたい、八女市に住んで良かったと思ってもらえるように、八女市の豊かな地域の魅力を活かし、安心して暮らせるまちをつくるために、農業や林業や商工業を応援したり、住まいに対して補助をしたり様々な分野で多くの取り組みを行っています。

お尋ねの少子化対策については、子どもとその家族が暮らしやすい子育て環境の充実にも力を入れています。たとえば、子どもが生まれる時、安心して出産できるように支援をしたり、保育園に通うための負担を少なくしたり、病気になった時の支払いを無料にしたりしています。

これからも、八女市に住んでいる人はもちろん、八女市で子育てをしてみたいと思ってもらえるよう、皆さんの意見も取り入れながら、これからもたくさんのお友達ができる八女市にしていきたいと思っていますので、平井議員もいいアイデアがあればどんどん提案してくれるとありがたいなと思います。



質問 「ICTについて」



私は、ゲーム制作やゲームプレイ、動画編集などにとっても興味があります。ゲーム制作などのスキルを学びたいと思っています。市内で、ゲーム制作や動画編集などを学ぶためのイベントなどはできないでしょうか。



市長からの回答

宮田議員のように、ゲームを作ったり、動画を編集したりすることに興味があるというのは、今の時代にとっても大切な技術ですし、とても頼もしく思います。

宮田議員の「学びたい」という思いにこたえるために、八女市がこれから始める新しい取り組みについてお答えします。

大学生などのお兄さん・お姉さんが先生になる「みんなの学校」という取組が始まっています。八女市では、久留米大学と協力して、12月から「八女市みんなの学校」という新しい活動をスタートしました。この学校の先生は、「team.csv（チーム・シーエスブイ）」という、パソコンやデジタル技術を使うのがとても上手な大学生のみなさんです。大学生が「校長先生」になって、八女市の公民館などで、みんなにいろいろなことを教えてくれます。

この「みんなの学校」では、まさに宮田議員がやりたいと言ってくれた内容の授業やイベントを色々予定しており、ゲーム作りや動画編集が学べるチャンスがあります。具体的には、ゲームを作るための基礎となるプログラミングを学んだり、動画をかっこよく編集する方法を教えてもらったり、ゲームを通じたeスポーツイベントも計画されています。

八女市では、大学生などのお兄さん・お姉さんと一緒に、ゲーム作りや動画編集を楽しく学べる場所をこれから作っていきます。

さらに、八女市は、八女のいいところを動画などで紹介してもらう「情報発信」にも力を入れています。宮田議員も機会があればこのような講座に参加していただき、学んだ技術で八女の楽しいところや面白いところを動画を通して、八女市や八女市以外のみんなに伝えてほしいなと思います。



質問 「公民館の活用について」



私たちの住んでいる地域では公共施設であるはずの公民館が有効活用されていないように感じるのですが、公民館を開放したり、誰もが自由に使えるようにしたりすることは可能でしょうか？



市長からの回答

公民館は、学校を卒業してもずっと勉強を続ける生涯学習という取組や地域の交流の中心となる施設です。皆さんが日々、いきいきと過ごすためにとても重要な役割を果たしており、公民館には、大きく分けて2つの種類があります。

一つ目は、市が設置している「公立公民館」です。これは、野中議員の地元にある「立花公民館」をはじめ市内に8か所あり、子ども向けから高齢者向けまでの様々な講座などを行っています。会議室の貸し出しも行っており、小学生の皆さんも利用できますが、安全に責任を持ってご利用いただくために、利用申込は大人の方をお願いしています。基本的には有料ですが、学校や「子ども会」の活動などで使う場合は、お金がかからないようにすることもできます。「こんな活動してみたい」という時は、ぜひ公民館の窓口で聞いてみてください。

二つ目は、皆さんの身近にある「地域の公民館」です。こちらは市内に200か所以上あり、地域の方々が自分たちで管理しながら、地域の集まりやお祭りなどに活用されています。こちらも、地域の公民館長さんの了解をいただければ、公立公民館と同じように使うことができます。「もっと便利に使いたい」「こんなふうに使ってみたい」というアイデアがあれば、ぜひ地域の公民館長さんに相談してみてください。地域の大人の方たちも、子どもたちの元気な声を待っていますので、きっと親身に相談にのってくれると思います。

どちらの公民館も、地域のつながりを深めるための大切な施設です。お祭りに行ってみたり、面白そうな講座に参加したりして、楽しんでみてください。「有効に活用されていないのではないか？」という野中議員の気づきは、本当に素晴らしい視点です。その思いを公民館の職員や地域の方に伝えて、どんどん公民館を活用してほしいと思います。



質問

「体育館のエアコン設置について」



私たちの学年では、体育の授業を楽しみにしている友達がたくさんいます。しかし、夏場になると体育館や運動場の気温がとても高くなり、体育の授業を受けることができなくなります。福島小学校では、7月～9月の体育館の使用が制限されてしまい、体を思いっきり動かすことができません。体育館にエアコンを設置することはできないのでしょうか。



市長からの回答

体育館にエアコンを設置してほしいという、大切なご意見をありがとうございます。体育の授業で友達とスポーツを楽しむ時間は、心も体も元気にしてくれる大切な時間です。そんな体育の時間を楽しみにしてくれていると聞き、とても嬉しく思います。

竹島議員が話してくれた通り、ここ数年、夏の気温がどんどん上がってきています。屋外だけでなく室内もとても暑く、体の中に熱がこもって体温のコントロールができず、熱中症になる恐れもでてきます。みなさんの命を守るためにはやむを得ず、気温が高い日は体育の授業を制限している状況です。

現在、八女市には21校の八女市立の学校がありますが、体育館にエアコンを設置できている学校はありません。また、2025年5月時点では、全国の公立学校の体育館のうち、エアコンが設置されているのは約22.7%と、少ない状況です。体育館にエアコンを設置するには、多くのお金が必要になるので、課題となっています。

ですが、みなさんが夏でも安全に、思いっきり体を動かせる環境を作ることは、私たち市役所にとっても大きな目標です。今日、竹島議員から質問してもらったことを踏まえて、これから皆さんの学校の体育館にエアコンを設置できるように、改めて市役所でも話し合いを進めていきます。

こども議会当日の様子

八女市議会議員 登退庁情報	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	橋原 幹陽	日野 亜結菜	野中 葵陽	大久保 遥真	溝田 航大	富山 市花	森 美心	平山 由珠	服部 結	中国 悠翔	平井 暁大
登庁	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
退庁	宮田 真	野中 一乃	竹島 秀悟								

【議員用】登退庁タッチパネル





